



# 女子サッカー部報告

コンピレーション:集大成

1年生 14名が世界に触れる

## フランスキャンプで成果

フランスナショナルトレーニングセンターで合宿

大阪桐蔭高校女子1年生は2月10日から18日までフランスで合宿を行った。フランスナショナルトレーニングセンター「クレールフォンテーヌ」に宿泊、専任コーチの指導によるトレーニング、国際親善試合、国際親善マッチ女子「フランス対カナダ」観戦、現在フランスプロ1部リーグ「ルマン」所属の日本人選手「松井大輔」選手との交流、デヴィジョンアン(フランスプロ1部リーグ)パリサンジェルマン対ヴァランシエンヌ観戦など多くの経験をつんだ。

◇親善試合(3月11日、ST.MAUR市グラウンド)70分ゲーム

大阪桐蔭高校 0-0V.G.A(ST.MAUR)

◇親善試合(3月12日、パリ近郊)70分ゲーム

大阪桐蔭高校 2-3(前半1-1)IVRY

【得点者】浅井、坂口

### 安田コーチの感想

今回で2回目のフランスキャンプとなった。クレールフォンテーヌでは昨年に引き続きアンジェリックコーチとフィリップコーチが指導を行ってくれた。二人ともこのナショナルトレーニングセンターの専属コーチである。体のバランスづくりから正確な技術を発揮するための基本的なことをしっかり丁寧に指導してもらった。「女子は男子より技術が劣るので簡単なミスをしたくない」という言葉が印象に残った。

試合ではフランス選手のフィジカルの強さや勝負に対する気持ちの強さが目についた。激しさを前面に出すプレーは見習うべきものである。

松井選手にも会うことができ本当に充実したキャンプとなった。この経験をこれからの生かしてもらいたい。

### クレールフォンテーヌ

クレールフォンテーヌはフランスサッカー協会が若手選手育成の為に作ったナショナルトレーニングセンター。各年代の代表チームの合宿を行うとともに、若い年代の優秀な選手を全国から集め寄宿舎生活を送り最新式のトレーニングで育成を図っている。日本では福島県にあるJヴィレッジがこれにあたるが、クレールフォンテーヌをモデルにしている。またこのトレーニングセンターの責任者であるデユソー氏をJヴィレッジに招聘しそのノウハウを取り入れている。

## 田崎ペルーレと試合

3月2日兵庫県吉川市にある「田崎真珠研修センター」で田崎ペルーレと練習試合を行った。田崎ペルーレはLリーグ1部に所属し2007年度は最後まで日テレベレーザと首位争いを演じ準優勝に輝いた名門。男子の天皇杯にあたる日本女子選手権でも準優勝を果たしている。2月に中国で行われた東アジアサッカー選手権で優勝した日本代表に池田(旧姓磯崎、阪口、下小鶴)の3名を送り込んでいる。

◇テストマッチ(3月2日、田崎真珠吉川研修センター)30分×3本の変則ゲーム

大阪桐蔭高 0-5(1本目0-2、2本目0-1、3本目0-2)田崎ペルーレ

【得失点】1分、27分、37分、61分、73分失点

大阪桐蔭高校は開始から果敢に攻めにいったが前半2分に左サイドを突破され失点、さらに前半終了間際にもすばやいスローインに対応が遅れ失点し前半を0-2で終えた。後半7分、61分、73分にも失点を重ね、結局0-5で敗れた。ペルーレは日本代表選手は調整のため出場しなかったが、若手の選手のレベルはトップレベル。我々はほとんど何もできなかった。しかし、終了間際の10分は必死のプレッシャ

ーをかけ、何とかチャンスをつくることのできた。このチームに勝つことはもちろん、1点を奪うことも大変だが、この日の経験はきっと役に立つはず。日本代表は東アジアで優勝しトップレベル。世界とも大きな差はない。その代表に選手を輩出するペルーレも世界に近い位置にいる。そのようなチームと試合ができたことは非常にうれしい。

## 強豪チームに胸をかりる

3月1日に本校グラウンドでLリーグ2部の高槻レディース、9日に大学選手権準優勝の大阪体育大学、20日に三重県鈴鹿市でLリーグ1部の伊賀FCとテストマッチを行った。

◇テストマッチ(3月1日、大阪桐蔭高校本館グラウンド)30分×4本の変則ゲーム

大阪桐蔭高校 3-11(1本目1-3、2本目1-1、3本目1-4、4本目0-3)高槻レディース(L2)

【得点者】村川、佐藤、柴田

【得失点】5分、14分、20分失点、35分村川、58分佐藤、59分、70分失点、71分柴田、76分、77分、81分、96分、112分、116分失点

◇テストマッチ(3月9日、大阪桐蔭高校本館グラウンド)30分×5本の変則ゲーム

大阪桐蔭高校 1-9(1本目0-0、2本目0-2、3本目0-0、4本目1-4、5本目0-3)大阪体育大学

【得点者】吉田

【得失点】45分、46分、62分、68分、70分失点、73分吉田、76分、132分、133分、139分失点

◇テストマッチ(3月20日、鈴鹿スポーツセンターグラウンド)30分×3本の変則ゲーム

大阪桐蔭高校 2-3(1本目0-1、2本目0-2、3本目2-0)伊賀FC(L1)

【得点者】阪口、六車

【得失点】3分、33分、43分失点、65分阪口、75分六車

【練習試合結果】

▼3月8日(土)神戸磯上グラウンド3-3 藤枝順心高校(30分5本)

## めぬま 妻沼カップ準優勝

全国から強豪48チームが集い埼玉県熊谷市で3月25日から行われた第14回MENUMA CUPU 2008で大阪桐蔭高校は準優勝を飾った。詳しくは次号掲載。